

# 平成 26 年度要介護認定適正化事業 技術的助言における推薦自治体等の検討のためのデータ集

## 【管内市区町村の状況（基本調査選択率と要介護度出現率）】

### 【 目 的 】

- ✓ 技術的助言事業の推薦自治体の選定にあたり、特定の要介護度区分の出現率や基本調査項目の選択率に関して、特に統計的に「はずれ値」とされる数値を示す自治体リストを参考情報として都道府県に提供するもの

### 【 選定した要介護度及び調査項目 】

	調査項目「選択肢」	標準 偏差	選定理由
1.	「要支援 1」の出現率 (一次判定結果・二次判定結果)	一次 5.3 二次 5.4	他の要介護度区分と比べ、一次判定結果における出現率のばらつき(標準偏差)が大きい
2.	「要介護 2」の出現率 (一次判定結果・二次判定結果)	一次 3.4 二次 3.2	
3.	麻痺等の有無 「左-下肢」「右-下肢」	左 12.7 右 12.7	他の調査項目選択肢と比べ、選択率のばらつき(標準偏差)が非常に大きい
4.	座位保持 「支えてもらえればできる」	7.0	認定調査員テキストに記載されている内容の解釈に偏りがあることが想定される選択肢 (適正化事業における研修や訪問による技術的助言、QA にて質問の多い選択肢)
5.	移乗 「見守り等」	7.1	
6.	移動 「見守り等」	9.6	

### 【 ヒストグラムの作成方法 】

**集計対象**：平成 25 年 4 月 1 日以降申請～平成 25 年 12 月 31 日までに認定支援ネットワークに送信のあった自治体（1,647 自治体）のうち、500 件以上送信のあった自治体（1,051 自治体）  
※区単位で送信のあった政令市については、区で 500 件以上送信がある場合に対象としている。

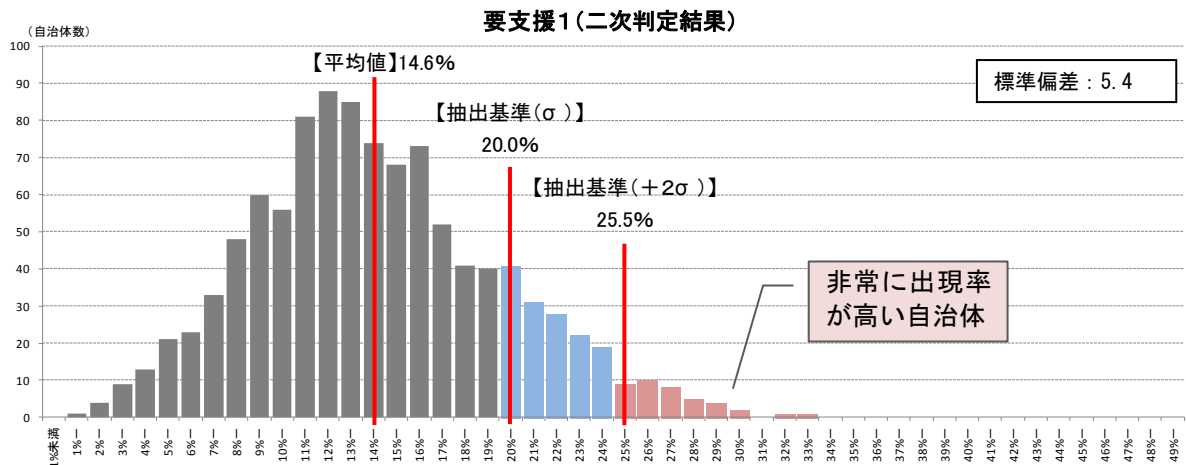
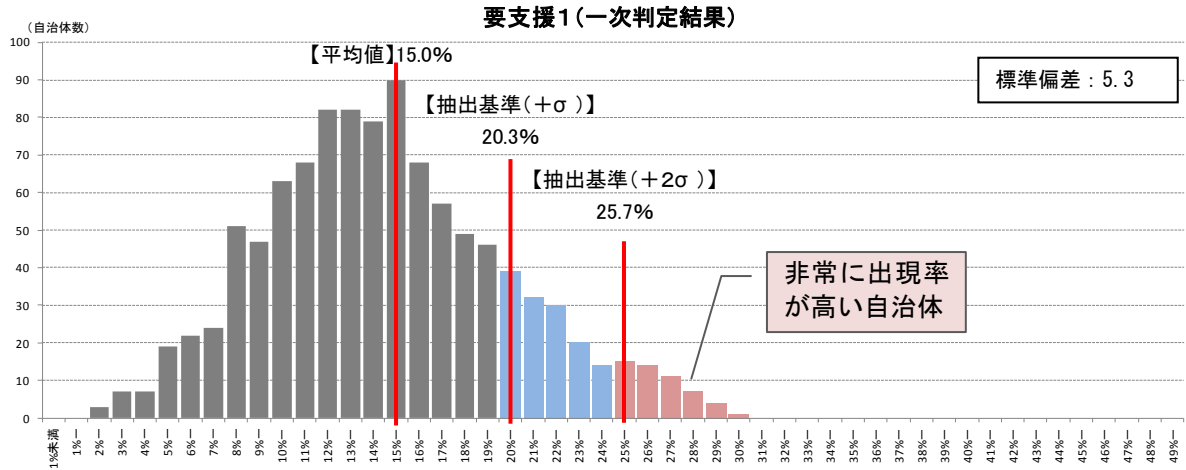
### 【 「はずれ値」となる抽出基準の設定方法 】

**抽出基準**：平成 25 年 4 月 1 日以降申請～平成 25 年 12 月 31 日までに認定支援ネットワークに 500 件以上送信のあった自治体（1,051 自治体）の選択率を対象として、平均値と標準偏差（ $\sigma$ ）を算出。  
算出した平均値に標準偏差×2 倍を足した選択率の値（+2 $\sigma$ ）を「はずれ値」の抽出基準とする。

（参考）正規分布に従っていれば、約 2.3%の自治体が基準点より大きい自治体となる。

## 1. 全国の自治体における出現率の状況

### 1. 要支援1 一次判定結果・二次判定結果での要支援1の出現率



※認定支援ネットワークに500件以上送信のあった自治体（1,051）にてヒストグラムを作成

#### ■■ ヒストグラム（グラフ）からみえる特徴 ■■

- ✓ 一次判定結果の標準偏差は5.3、二次判定結果の標準偏差は5.4と、他の要介護度と比べると出現率のばらつきが大きい
- ✓ 10%台に属する自治体が多いが、+2σ（平均値+標準偏差×2）の抽出基準より出現率が高いゾーンに、少数ではあるが非常に出現率の高い自治体が存在している

【要支援1（一次判定結果）の参考データ】（※対象：500件以上送信のあった自治体）

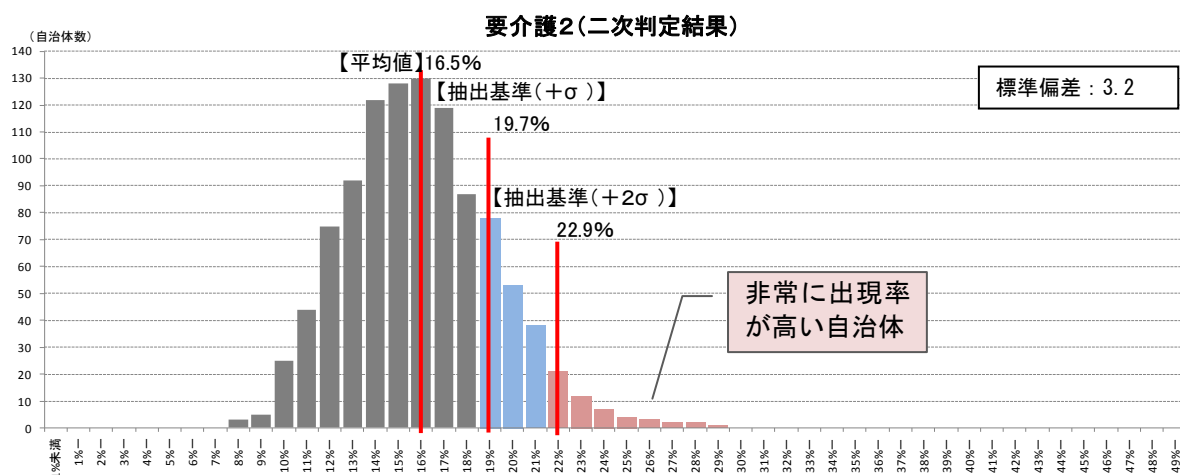
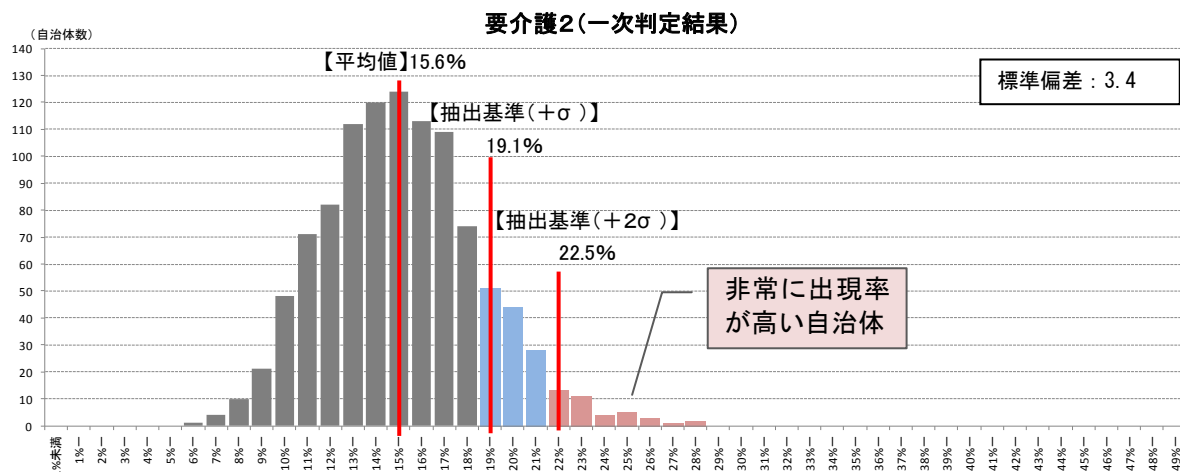
- ✓ +2σよりも選択率が高い自治体数：46か所、最大値：30.6%、最小値：2.0%

【要支援1（二次判定結果）の参考データ】（※対象：500件以上送信のあった自治体）

- ✓ +2σよりも選択率が高い自治体数：41か所、最大値：33.8%、最小値：1.9%

## 1. 全国の自治体における出現率の状況

### 2. 要介護2 一次判定結果・二次判定結果での要介護2の出現率



※認定支援ネットワークに500件以上送信のあった自治体（1,051）にてヒストグラムを作成

#### ■■ ヒストグラム（グラフ）からみえる特徴 ■■

- ✓ 一次判定結果の標準偏差は3.4、二次判定結果の標準偏差は3.2と、他の要介護度と比べると出現率のばらつきがやや大きい
- ✓ 13～17%に属する自治体が多いが、+2σ（平均値+標準偏差×2）の抽出基準より出現率が高いゾーンに、少数ではあるが非常に出現率の高い自治体が存在している

【要介護2（一次判定結果）の参考データ】（※対象：500件以上送信のあった自治体）

- ✓ +2σよりも選択率が高い自治体数：36か所、最大値：28.4%、最小値：6.9%

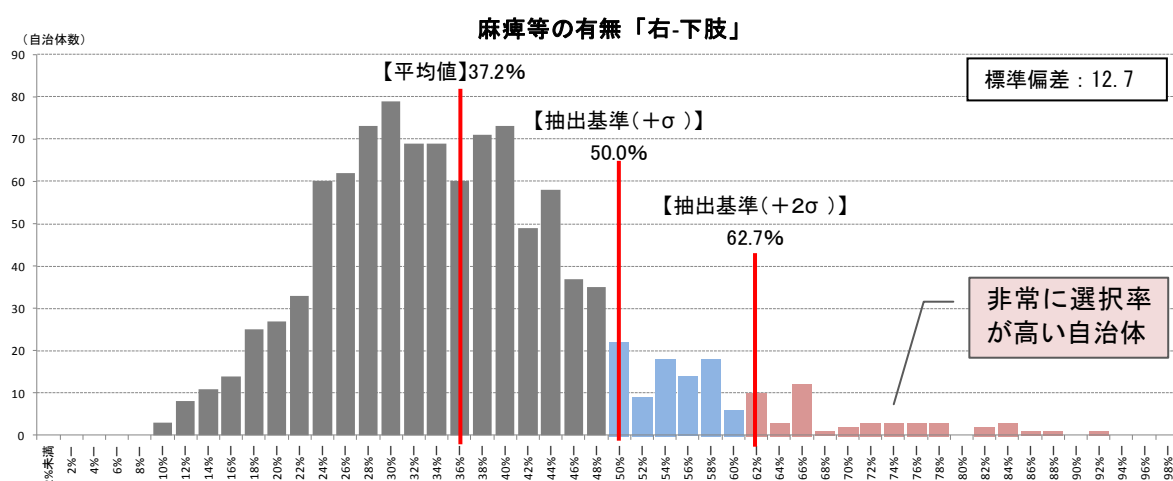
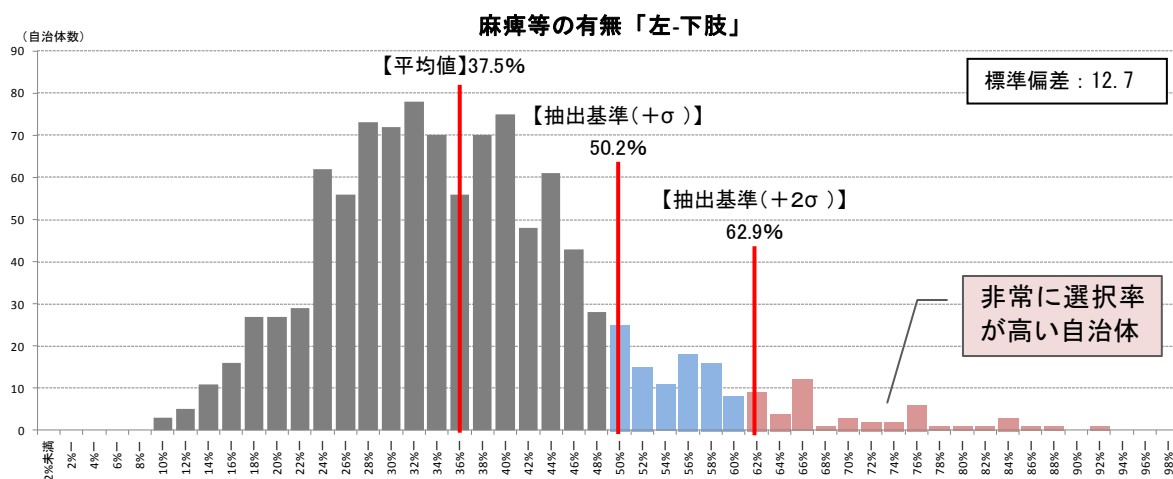
【要介護2（二次判定結果）の参考データ】（※対象：500件以上送信のあった自治体）

- ✓ +2σよりも選択率が高い自治体数：37か所、最大値：29.5%、最小値：8.3%

## 2. 全国の自治体における選択率の状況

### 第1群 身体機能・起居動作（評価軸：有無）

#### 1. 麻痺等の有無 「左一下肢」「右一下肢」の選択率（※麻痺ありの選択率）



※認定支援ネットワークに500件以上送信のあった自治体（1,051）にてヒストグラムを作成

#### ■■ ヒストグラム（グラフ）からみえる特徴 ■■

- ✓ 「左一下肢」の標準偏差は12.7、「右一下肢」の標準偏差は12.7と、いずれの項目も選択率のばらつきが大きい（調査項目の中で、選択率のばらつきが大きい上位3位に入っている）
- ✓ 特に、+2 $\sigma$ （平均値+標準偏差×2）の抽出基準より選択率が高いゾーンに、少数ではあるが非常に選択率の高い自治体が存在しており、選択率全体のばらつきが大きくなる要因の一つとなっている

【麻痺（左一下肢）の参考データ】（※対象：500件以上送信のあった自治体）

- ✓ +2 $\sigma$ よりも選択率が高い自治体数：47か所、最大値：93.4%、最小値：10.1%

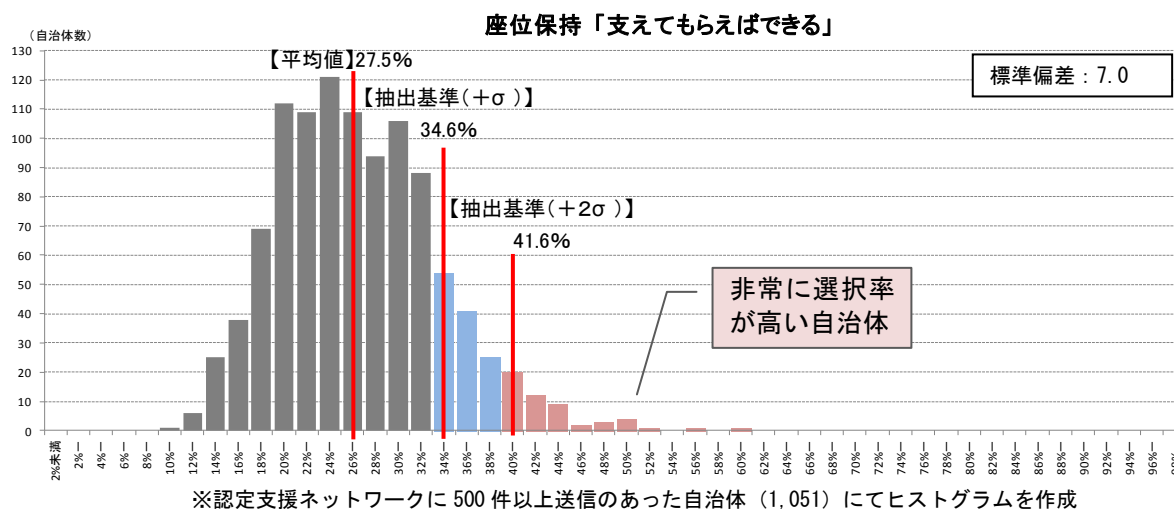
【麻痺（右一下肢）の参考データ】（※対象：500件以上送信のあった自治体）

- ✓ +2 $\sigma$ よりも選択率が高い自治体数：50か所、最大値：92.6%、最小値：11.0%

## 2. 全国の自治体における選択率の状況

### 第1群 身体機能・起居動作（評価軸：能力）

## 2. 座位保持 「支えてもらえればできる」の選択率



#### ■■ ヒストグラム（グラフ）からみえる特徴 ■■

- ✓ 下肢麻痺と同様、特に、 $+2\sigma$ の抽出基準より選択率が高いゾーンに、少数ではあるが非常に選択率の高い自治体が存在している

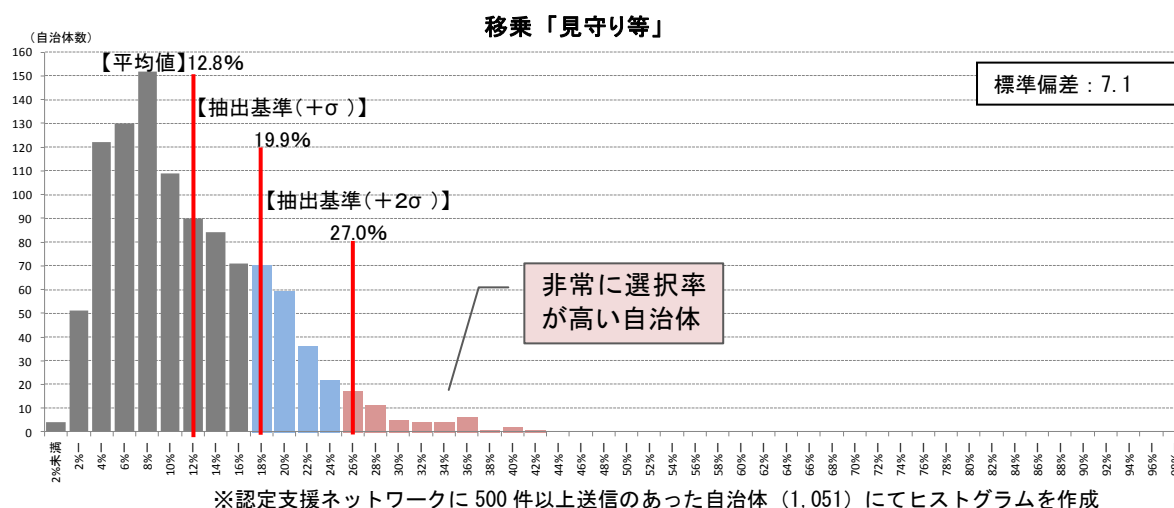
【座位保持（支えてもらえればできる）の参考データ】（※対象：500件以上送信のあった自治体）

- ✓  $+2\sigma$ よりも選択率が高い自治体数：42か所、最大値：60.4%、最小値：11.9%

## 2. 全国の自治体における選択率の状況

### 第2群 生活機能（評価軸：介助の方法）

## 3. 移乗 「見守り等」の選択率



#### ■■ ヒストグラム（グラフ）からみえる特徴 ■■

- ✓ 平均値よりも選択率が低い4~10%に属する自治体が多いが、一方で、 $+2\sigma$ の抽出基準より選択率が高いゾーンに、少数ではあるが非常に選択率の高い自治体が存在している

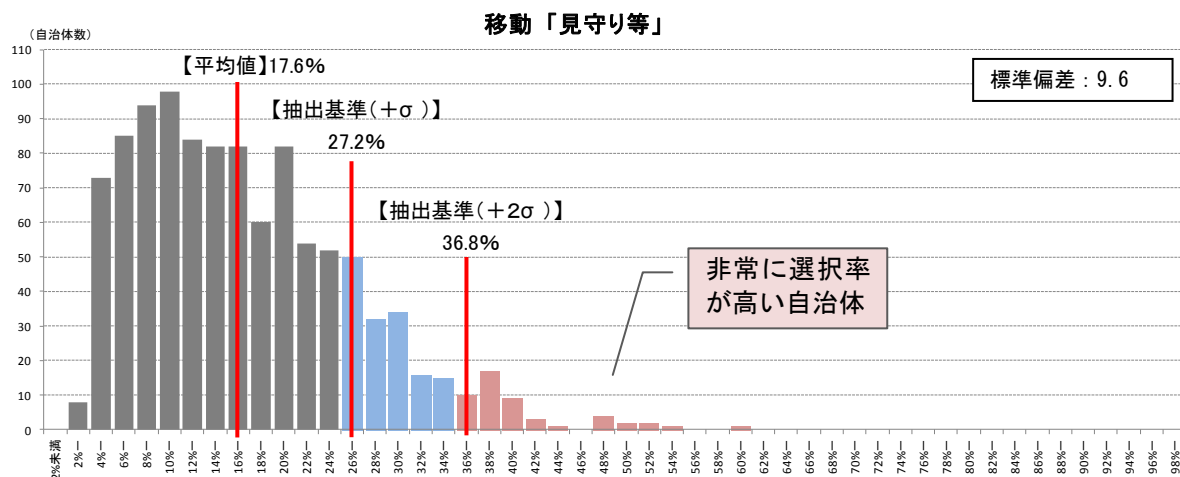
【移乗（見守り等）の参考データ】（※対象：500件以上送信のあった自治体）

- ✓  $+2\sigma$ よりも選択率が高い自治体数：47か所、最大値：42.7%、最小値：1.5%

## 2. 全国の自治体における選択率の状況

### 第2群 生活機能（評価軸：介助の方法）

#### 4. 移動 「見守り等」の選択率



※認定支援ネットワークに500件以上送信のあった自治体（1,051）にてヒストグラムを作成

#### ■■ ヒストグラム（グラフ）からみえる特徴 ■■

- ✓ 平均値よりも選択率が低い4～20%に属する自治体が多いが、一方で、+2 $\sigma$ の抽出基準より選択率が高いゾーンに、少数ではあるが非常に選択率の高い自治体が存在している

【移動（見守り等）の参考データ】（※対象：500件以上送信のあった自治体）

- ✓ +2 $\sigma$ よりも選択率が高い自治体数：50か所、最大値：61.3%、最小値：2.3%